

第2学年国語科学習指導案

日 時 平成〇〇年〇月〇〇日 (〇) 第〇校時
 学校名 〇 〇 〇 〇 小学校
 対象 第 〇 学年 〇 組 〇〇名
 指導教員 〇〇 〇〇
 授業者 〇〇 〇〇

単元名

本単元のねらいを明確に示す。単元名は、学校の指導計画に合わせて設定するとよい。

目標

学習指導要領の目標、内容に基づいて設定する。

評価規準

単元の目標を踏まえ、評価規準を設定する。国語科は、「国語への関心・意欲・態度」「話す・聞く・能力」「書く能力」「読む能力」「言語についての知識・理解・技能」の5つの観点から、単元の内によって、評価の観点を設定する。

単元について

本単元の学習指導要領の位置付けや指導のねらいを示す。単元や教材のもつ教育的意義や児童に身に付けたい言語能力を具体的に書く。

児童の実態について

現段階での児童に定着している言語能力の状況や児童の興味・関心等の実態を十分に把握する。また、当該学年だけでなく、小学校1年生から中学校3年生までを見通し、育成したい観点を明確に示す。

1 単元名 「『すきな生きもの』についての成長アルバムをつくらう」 (教材名「さけが大きくなるまで」)

2 単元の指導目標

生き物に関する本から時や場所を表す言葉に気を付けながら内容の大体を読み取り、分かったことを基に成長アルバムを作ることができる。

3 単元の評価規準

ア 国語への関心・意欲・態度	イ 読む能力	ウ 言語についての知識・理解・技能
① 成長アルバム作りに関心を持ち、学習の見通しをもっている。 ② 生き物の成長の過程に興味を持ち、すすんで文章を読もうとしている。	① 大人のさけが川で卵を産むまでの様子を読み取り、時・場所・様子を表す言葉を成長アルバムにまとめている。 ② 卵からかえり、稚魚として生活するまでの成長過程を読み取り、時・場所・様子を表す言葉を成長アルバムにまとめている。 ③ 海での生活を始め、成魚になるまでのさけの様子を読み取り、時・場所・様子を表す言葉をワークシートにまとめている。 ④ 生き物の成長過程における時・場所・様子を表す言葉を見付け、成長アルバムにまとめている。	① さけの成長過程を、主語と述語の関係に気を付けて、読んだり、書いたりしている。

4 指導観

(1) 単元観

本単元では、小学校学習指導要領国語の第1学年及び第2学年「C 読むこと」の指導事項「イ 時間的な順序や事柄の順序などを考えながら内容の大体を読むこと」、「エ 文章の中の大事な言葉や文を書き抜くこと」を身に付けさせるために、「生き物の成長アルバムをつくる」という言語活動を通して指導を行っていく。

まず、単元の導入で「成長アルバム」のモデルを示し、見通しをもって、生き物についての他の科学的読み物を読み進めていけるようにする。そして、教材文である「さけが大きくなるまで」を読み、「成長アルバム」の作り方を知る。その後、自分が選んだ生き物の成長の様子を読み取り、成長アルバムにまとめ、作ったものを互いに読み合う活動を取り入れていく。

(2) 児童観

本学級の子供は、読書の時間を楽しみにしている。男子は、図鑑や絵本、女子は、絵本や物語を好む傾向があり、説明的な内容の本には、あまり興味を示していない。また、最後まで読み通すことなく、最初だけ見たり読んだりして本を替えてしまう子供もいる。

これまでの説明的文章の学習では、「すみれとあり」において、「順序に気を付けて」読む学習をしてきている。多くの子供は、順序を表す言葉に気を付けて読むことによって内容が分かりやすくなることを学んでいる。一方では、一つ一つの言葉を捉えきれず、音読も不十分な子供もいる。本教材は、身近な魚「さけ」を取り上げ、その成長過程の様子の

写真を載せているため分かり易い。写真と叙述を照応させながら成長アルバムを作る活動をして読みの不得意な子供の学習意欲を喚起していきたい。

国語科の指導計画作成上の基本的な考え方について

指導計画の作成に当たっては、児童に身に付けさせたい言語能力を明確にし、学習指導要領の内容をどのように取り上げるかを明確にする。学校や学年あるいは学級の児童の言語能力や言語体験の違いなどに応じて、学習のねらいや児童の興味や関心を考えながら計画を立てる必要がある。その際、学習指導要領に示されている各学年の内容に基づきながらも、その前の学年において初歩的な形で取り上げたり、後の学年において程度を高めて取り上げたりして指導することも考えられる。また、児童の言語能力が高まるよう、それぞれの学年の学習指導を孤立させず、児童の発達の段階を見通して目標の系統性を保ちながら柔軟でしかも弾力的な運用を図り、系統化した効果的な指導がなされるよう計画を立てていくことが大切である。

(3) 教材観

本教材は、第1段落に「どこで生まれ、どのようにして大きくなったのでしょうか。」という問いが示されている。また、「秋になるころから」「冬の間に」「春になるころ」「川を下ってきたさけの子供たちは」「海の水になれて」などの時間的経過を表す言葉、状況が分かる言葉などが各段落の冒頭にある。これらの言葉に着目させることによって時間的順序を把握しながら内容理解が図られると考える。

さらに、7枚の写真が、それぞれ効果的に配置され、さけの成長過程も視覚的にも把握しやすい。各段落の冒頭の言葉に注目させ、写真と叙述を結び付けながらさけの成長過程の全体を読み取らせ、それを基に成長アルバムを作らせたい。

また、生き物の本の選定にあたっては、成長過程が分かりやすく、写真の多い本を厳選していく。そして、多くの本に触れさせ、その中から調べたい生き物を選べるようにしていく。

教材について

教材としての特徴から指導のポイントとなることを明らかにする。また、授業で扱う資料や、各種教材・教具、地域の人材、学習環境等をどのように活用するかを示す。

5 単元の指導計画と評価計画（7時間扱い）

次	時間	ねらい	学習活動	学習活動に即した具体的な【評価規準】（評価方法）
第1次	1（本時）	<ul style="list-style-type: none"> 全文を読み、写真を手掛かりに内容の順序をつかみ、単元を通した読みのめあてをもつことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 好きな生き物を交流する。 教師が作成した生き物の成長アルバムを提示する。 成長アルバムをつくるために、どのようなことをしたらよいか考える。 全文を読む。 写真を手掛かりに、内容の順序をつかむ。 第1段落を読み、これからの読みのめあてをもつ。 	【ア－①】（観察）
	すきな生きものの成長アルバムをつくらう			
第2次	2	<ul style="list-style-type: none"> 第2、3段落を読んで、分かったことを基に成長アルバムを作ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 第2、3段落を読み、例を参考にして成長アルバムを作る。 作った成長アルバムを交換し、友達の意見を聞いて直す。 	【イ－①】（成長アルバム）
	3	<ul style="list-style-type: none"> 第4段落を読んで、分かったことを基に成長アルバムを作ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 第4段落を読み、前時に作った成長アルバムを参考にして成長アルバムを作る。 作った成長アルバムを交換し、友達の意見を聞いて直す。 	【イ－②】（成長アルバム）
	4	<ul style="list-style-type: none"> 第5、6段落を読んで、分かったことを基に成長アルバムを作ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 第5、6段落を読み、前時までに作った成長アルバムを参考にして成長アルバムを作る。 作った成長アルバムを交換し、友達の意見を聞いて直す。 	【イ－②】（成長アルバム）

指導計画

児童が見通しをもって学習を進めることができるように、指導計画を作成する。

本単元では、7時間の単元全体を大きく、三つのまとまりを「次」に分ける。

「第1次」

児童に学習内容や作品について興味・関心を高めるための動機付けと学習課題を掴む活動

「第2次」

教材文を読み、写真や叙述を手掛かりに内容の全体を掴み、それをもとにして成長アルバムを作る活動

「第3次」

- 前時までに作り上げた成長アルバムを見直し、発表に備えて準備をする活動
- 1年生に発表する活動

	5	<ul style="list-style-type: none"> 第7、8、9、10段落を読んで、分かったことを基に成長アルバムを作ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 第7、8、9、10段落を読み、前時までに作った成長アルバムを参考にして成長アルバムを作る。 作った成長アルバムを交換し、友達の意見を聞いて直す。 	【イー③】 (成長アルバム)
第3次	6	<ul style="list-style-type: none"> 自分が選んだ生き物について成長過程を分け、時・場所・様子を表す言葉を書き出し、成長アルバムにまとめることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 成長過程を成長アルバムに書き、同じ生き物を選んだグループで話し合う。 時・場所・様子を表す言葉を探す。 	【イー④】 (成長アルバム)
	7	<ul style="list-style-type: none"> 自分の選んだ生き物の成長アルバムを仕上げ、感想を交流し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> 別の生き物のグループで成長ブックを読み合い、よいところを伝え合う。 	【アー②】 (成長アルバム)

国語科における「言語活動の充実」について

「話すこと・聞くこと」「書くこと」及び「読むこと」の各領域において、基礎的・基本的な知識・技能を活用して課題を探究することができる国語の能力を身に付けることができるよう、日常生活に必要とされる記録、説明、報告、紹介、感想、討論などの言語活動がある。学校や児童の実態に応じて、様々な言語活動を工夫し、その充実を図っていくことが重要である。

6 本時の指導 (全7時間中の第1時間目)

- (1) 本時の目標
全文を読み、写真を手掛かりに書かれてある内容の順序をつかむとともに、単元を通じた読みのめあてをもつことができる。
- (2) 本時の展開

本時の目標

本時の学習を通して身に付けさせたい言語能力を端的に示す。

	○学習内容・学習活動	指導上の留意点【評価規準】(評価方法)
導入	<ul style="list-style-type: none"> 本時のめあてを理解する。 好きな生き物を交流する。 教師が作成した生き物の成長アルバムを提示する。 成長アルバムをつくるためにどのようなことをしたらよいか考える。 写真を見て気付いたことを発表する。 本時のめあてをもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> 教科書に載っている写真を順不同に貼る。また、さけの模型を見せ、さけに興味・関心をもたせ、読む意欲を喚起させる。
	「さけが大きくなるまで」読んで、これからの読みのめあてをもとう。	
展開	<ul style="list-style-type: none"> 全文を読み、内容の順序を理解する。 教師の全文範読を聞く。 全文を音読する。 時や場所を表す言葉に気を付けて読み、成長アルバムのページ数を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 読みの遅い子供のために、指で文章を追いつながりながら範読を聞くように指示し、次の音読につなげる。聞き終わった後、感想を発表させる。 音読の進捗状況を把握するために、立って音読をさせ、終わった子供は座らせ微音読をさせる。
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> 単元全体のめあてを理解する。 生き物の他の本を、時や場所を表す言葉に気を付けながら読む。 次時の予告を聞く。 	

本時の展開

<導入>

教科書に載っている写真の拡大したものやさけの実物大の絵図を見せ、読みの意欲をもたせるようにする。

<展開>

- 子供が本時の学習で読む場面を示し、学習活動を示す。
- 「学習活動・内容」
 - 児童の実態に応じた内容や方法を工夫する。
 - 本時のねらいを意識して、教師の範読や個人の音読をさせる。読み終わった後に、黒板に貼られた写真を内容の順序にそって並べ替えることを伝え、読む目的意識をもたせるとよい。
 - 一人一人の読みを確立するために、範読の聞かせ方(指で文章を追わせる)、一人一音読のさせ方を工夫する。
- 「指導上の留意事項」
 - 子供一人一人の読みの実態を把握し、指導や助言等の手立てを明確にする。
- 「評価規準」
 - 評価計画に基づき、評価場面と方法を具体的に示す。

<まとめ>

- 本時のまとめとともに、次時の課題意識をもたせる。

(3) 板書計画

<p>「さけが大きくなるまで」を読んで分かったことをもとにして、クイズを作ろう。</p>	<p>これからのめあて</p>	<p>さけは、北の海にすむ魚です。さけの大きさはどのくらいでしょう。</p> <ol style="list-style-type: none">① 十センチメートルくらい② 三十センチメートルくらい③ 七十センチメートルくらい	<p>クイズ①</p>	<p>写真</p>	<p>写真</p>	<p>写真</p>	<p>「さけが大きくなるまで」を読んで、これからの読みのめあてをもちょう。</p>	<p>きょうのめあて</p>	<p>さけが大きくなるまで</p>
--	-----------------	--	-------------	-----------	-----------	-----------	---	----------------	-------------------